

(別紙4(2))

事業所名：グループホーム 木太

目標達成計画

作成日：令和 4 年 5 月 10 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	職員一人ひとりの目標を、地域の方にも分かるように、掲示してはいかがでしょうか。	これまでの自己評価及び目標は周知されているが、入居者やご家族にも分かるように掲示する。	日頃の業務の取組み等において、入居者・ご家族を含めチームワークとして取り組む。利用者目線・家族目線にたった介護支援に繋げる。	6ヶ月
2	3	分割開催を検討してはどうか。推進会議のメンバーを新たに替えてはどうか。	地域包括ケアシステムが進む中で、グループホームの役割は大きく、これまでの運営推進会議が画一的にならないよう幅広い参加を推進する。	運営推進会議での施設報告・各検討会を継続する。さらに多方面の方々に参加して頂き、意見交換・交流を図れる様にする。コロナ禍で開催が難しい時期には小人数やユニット別にするなど分割開催等も検討する。5月開催予定。	6ヶ月
3	5	スピーチロックについて、理解を深めてみてはどうか。	何気なく使っている言葉によって、利用者の言動が抑制されることがないようにスピーチロックをしないケアを心がける。	スピーチロックに関する研修会を定期的を実施する。命令的な言葉がけや口調がみられた場合、職員間で常に注意し合える環境を作る。	2ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。